

平成31年2月12日

杉並区議会議長

大熊 昌巳 様

文化芸術・スポーツに関する特別委員会

委員長 上野 エリカ

文化芸術・スポーツに関する特別委員会活動経過報告書

文化芸術・スポーツに関する特別委員会の活動経過について、下記のとおり報告します。

記

1 平成30年12月4日

(1) 報告聴取

ア 台湾中学生のホームビジットプログラムの実施報告について

(ア) 目的

交流自治体中学生親善野球大会参加のために来日した台湾の中学生の日本文化体験と、杉並・台湾両方の中学生の国際理解の促進のため。

(イ) 概要

- ・親善野球大会に参加した台湾の中学生の生徒が杉並チームの中学生の家庭を訪れ、食事を共にするなどのホームビジットを行った。
- ・参加者は台湾側が中学校2校30名。日本側が2チーム16家庭。

(ウ) 実施結果

台湾選手、杉並区の受け入れ家庭へのアンケート結果は非常に高評価であったが、受け入れ家庭の一部から、滞在時間の短さやコミュニケーションの難しさなどの指摘があり、今後の改善につなげていく。

(エ) ホームステイ・ホームビジット支援事業に関する今後の取組

平成31年2月 事業の実施要領・ホストファミリーの公募要領の策定

平成31年3月3日 ホストファミリーの相談・登録受付開始

平成31年7月 ホームステイ・ホームビジット支援事業の実施

イ 杉並区オリンピック・パラリンピック・スポーツアドバイザーの設置について

(ア) 設置目的

オリンピック・パラリンピック競技大会の開催にあたり、専門的な立場から

助言を受けることにより、区立体育施設を活用した区民の機運醸成、オリンピック・パラリンピックレガシーの創出及び地域スポーツ活動の活性化等を効果的に展開することを目的とする。

(イ) 任期及び設置期間

任期は委嘱した年度内とする。ただし、平成 33 年 3 月 31 日までを限度として、毎年度再任することができる。

(ウ) アドバイザーの役割

- ・大会での外国チームの事前キャンプ誘致活動への助言及び協力
- ・事前キャンプ実施時の区民交流事業等に関する助言及び協力
- ・大会に関連する事業実施やPR活用に関する助言及び協力
- ・地域のスポーツ振興活動への助言及び協力

(エ) 委嘱等

- ・オリンピック・パラリンピックやその他スポーツの分野において幅広い人脈や知識を持つとともに、知名度が高く、区の取り組みに対するPR効果も見込まれる者を区長が委嘱する。
- ・今回、事前キャンプの誘致活動等を円滑に進めるため、前バレーボール日本男子代表監督の南部正司氏に委嘱を行った。

ウ 平成 30 年度「交流自治体中学生親善野球大会」の実施報告について

(ア) 目的

杉並区と交流のある自治体の中学生との親善野球大会を行うことにより、健全なスポーツ精神を培うとともに、異文化理解・国際理解を深める。

(イ) 参加自治体

杉並区、台湾台北市、南相馬市、南伊豆町、東吾妻町、小千谷市

(ウ) 実施日及び内容

- ・10月6日は、台湾の中学生が阿佐ヶ谷中学校を訪問して学校交流を行い、夜は立正佼成会大聖堂で全参加選手の交流夕食会を実施。
- ・10月7日と8日の2日間で親善野球大会を全16試合実施。
- ・10月7日の試合終了後には、元プロ野球選手による野球教室を実施。
- ・10月8日の試合終了後には、ホームビジット事業を実施。

(エ) 参加者状況

選手 148 名、監督・行政関係者等 58 名、その他（審判・ボランティア・来賓等）約 125 名

(オ) その他

本大会の報告書を作成し、12月18日に報告会を開催